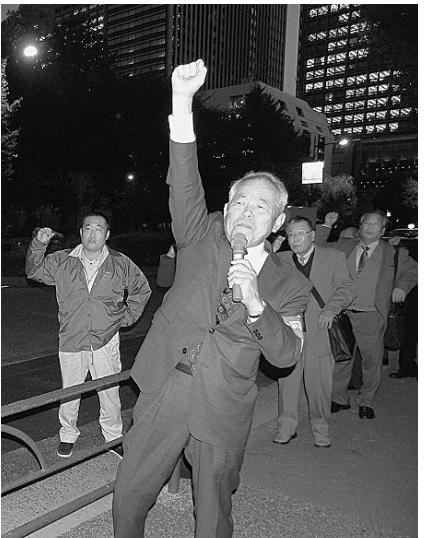


# 政党・船社・ユーザーにアピール! 16秋年末闘争中央行動



## POC学習会 関門港湾

十一月四日十四時より、IND(パナマ船籍)に藤木インスペクター及び玉田書記長をお招きし、関門港湾から十二名が参加、訪船活動を実施した。訪船活動についての説明を受け、西海岸地区九号岸壁接岸中のM/V "EAGLE W" がITFの協約ではない

ことが判明した。藤木インスペクターと船長の間で機会があればJSUとの交流とITFの協約に向け努力するよう申し入れた。その後、POC活動として本船

訪船した。はじめに船長を訪ね、FOC活動として、訪船員の労働協約の締結状況を質問した処、船長の母国であるフィリピンのローカルな労働協約は締結していない

こと。その後、当該本船の状況は船齢が新しく、良い

TF龍氏を迎えて、学習会を開催した。「国際労働運動の課題」と題し、ITFの総勢四十二名が参加し、I

TF龍氏を迎え、学習会を開催した。その後、玉田書記長より、POCについての背景にグローバルネットワークターミナルオペレーター(以下GNT)と呼ばれる巨大オペレーター会

社が世界の物流を牛耳っている事。それらが、日本の

(関門港湾・岡部事務局長)

構等の説明があった。その後、POCの現状として、港湾労働者の職域を守る重要な課題」と題し、ITFの発足のきっかけや経過、機

構等の説明があった。その後、POCについては今後、港湾労働者の職域を守る重要な運動になる。非指定港問題だけではなく、内陸にも

い見せることになりそうだ

なども報告された。

その後、玉田書記長より、

POCについて学習会を締めくくった。

その後、玉田書記長より、